

令和4年3月16日

平泉町議会議長 高橋 拓生 様

総務教民常任委員会
委員長 氷室 裕史

委員会調査報告書

本委員会が調査した事件について、調査の結果を下記のとおり会議規則第76条の規定により報告します。

記

1 調査事件

総務教民常任委員会所管にかかる調査について
(1) 高齢者支援対策について

2 調査の経過

(1) 本町を取り巻く状況と課題

本町の高齢化率は38.0%(令和2年10月1日現在)であり、今後上昇し続け、2040年には全国平均35.2%に対して45.2%という推計が出ています。このまま高齢者人口が増加し、生産年齢人口が減少していくと、医療・介護分野への負担がさらに増え続け、それを担う労働者も減少の一途をたどってしまうことから、医療・介護サービスが機能なくなってしまう恐れがあります。そのようなことを起こさないために、これから訪れる超高齢社会に備え、高齢者福祉計画の理念である「支え合う地域の中で高齢者一人ひとりが自分らしく輝やくまち」を目指し、みんなで支え合い、介護予防活動に多角的な観点を持って取り組んでいくことが大切です。

(2) 調査及び検討の経過

年月日	会 議
令和2年6月12日	常任委員会、所管事務調査 ・高齢者支援対策（交通弱者対策を含む）を調査し、提言へつなげることを確認。 ・調査事項の発議(案)協議
令和2年8月25日	常任委員会 ・人口ビジョン、高齢者の健康増進、交通弱者の買い物支援について協議

令和2年9月11日	常任委員会、所管事務調査 ・人口ビジョン、町内公共交通の状況、高齢者の地域健康増進事業について協議 ・先進地事例について各委員調査報告
令和2年12月14日	常任委員会、所管事務調査 ・先進地事例検討、交通弱者の買い物支援について協議 ・提言に向けた行政視察先の選定
令和3年3月10日	常任委員会、所管事務調査 ・高齢者の健康増進について協議 ・町高齢者福祉計画(R3～R7年度)について協議
令和3年6月11日	常任委員会、所管事務調査 ・町内公共交通の状況、交通弱者について協議 ・高齢者の買い物支援について協議 ・提言に向けた懇談団体の選定
令和3年9月9日	常任委員会、所管事務調査 ・町内公共交通の状況、交通弱者について協議 ・高齢者支援対策について協議
令和3年10月22日	常任委員会 ・町内公共交通の状況、交通弱者について協議 ・高齢者支援対策について協議 ・提言に向け、団体との懇談内容について協議
令和3年12月6日	団体との懇談会 ・地域での高齢者支援等について団体と意見交換
令和3年12月10日	常任委員会、所管事務調査 ・高齢者支援対策について協議
令和4年2月24日	常任委員会 ・高齢者支援対策について協議 ・調査報告(案)、提言(案)の検討
令和4年3月9日	常任委員会、所管事務調査 ・高齢者支援対策について協議 ・調査報告(案)、提言(案)の検討

3 調査意見

(1) 地域住民の主体性を尊重した支援

① 相談体制の確立

過剰な支援・補助は地域の主体性やつながりを阻害することが懸念されるため、今後、地域が新たな組織や集いの場の構築を希望した際の相談・アドバイスの体制を充実させること。

② 既存の地域組織へのヒアリング

町内各地区の地域組織へのヒアリングを密に行い、当該組織の目的と課題を明らかにし、後の地域組織の構築に資するものとすべきであります。

(2) 既存事業の有効活用と機会の充実

① 既存事業の周知

高齢者のひきこもりや認知症を予防するため、当町の既存の生活支援サービス事業

と各種介護予防事業が、より町民に周知されるよう公報活動を充実させること。

②高齢者の活躍できる環境づくり

一般介護予防事業を高齢者の交流の場とするだけに留めず、これまで高齢者が培ってきた知識や経験を地域課題や行政の問題解決に活かせる場とし、町全体との連帯感を深められるような事業とすること。

③コミュニティバスの活用推進

令和3年6月から実証実験が開始された平泉町コミュニティバスの実証分析を早急に進め、公共交通空白地域の買い物支援を含めた町民ニーズに沿った形となるよう努めること。

(3) 高齢者の自立と認知症予防への取り組み

①世代間交流の推進

「百歳体操」、「脳いきいき教室」等の取り組みの他に積極的に児童・生徒と高齢者が交流できる「生きがい活動事業(仮称)」を設けること。

②高齢者の自立に向けたサポート

高齢者の見守り体制と町内のサポート施設の充実を図り、高齢者の自立(社会参画の促進)のきっかけを提供すること。